白馬乗鞍岳山スキー報告

【山域】北アルプス・白馬乗鞍
【日程と天気】2016 年 4 月 16 日　晴れ
【メンバー】CL 菊池・薄井・井上(里)・池上（船山）
【行程】千葉(菊池家)3：00－薄井さん PU－関越・上信越自動車道－長野 IC－栂池スキー場駐車場－ゴンドラ・ロープウェイ（1830m）－天狗原（2204m）―白馬乗鞍岳（2456m）－滑走－天狗原―振子沢方向へ東斜面・標高差 150m 滑走－天狗原－滑走－ゴンドラ降り場(1570m)－ゴンドラ－駐車場
累計登り標高差 776m　累計滑走標高差 1036m

・白馬乗鞍岳は小生にとってはよく行くところです。昨年・1 昨年の夏に白馬大池―白馬岳のテント縦走を 2 年連続、花を愛でる山行を目的に実施した。白馬岳は夏山・山スキーで計 10 回以上、白馬乗鞍岳を経由する山スキーは、船越の頭から金山沢・蓮華温泉ベースに雪倉岳・朝日岳などに 4 月中旬から GW にかけ 4～5 回行った。これらのハードなロング

山スキー山行は、体力の減退に伴い 2013 年を最後に途絶えている。
例年の残雪量ですと、上信越の 2000m クラスの山々の山スキーを楽しめる時期であるが、今期は無理であり、初級以上でも十分楽しめる、残雪十分の白馬乗鞍の日帰りツアーを計画した。

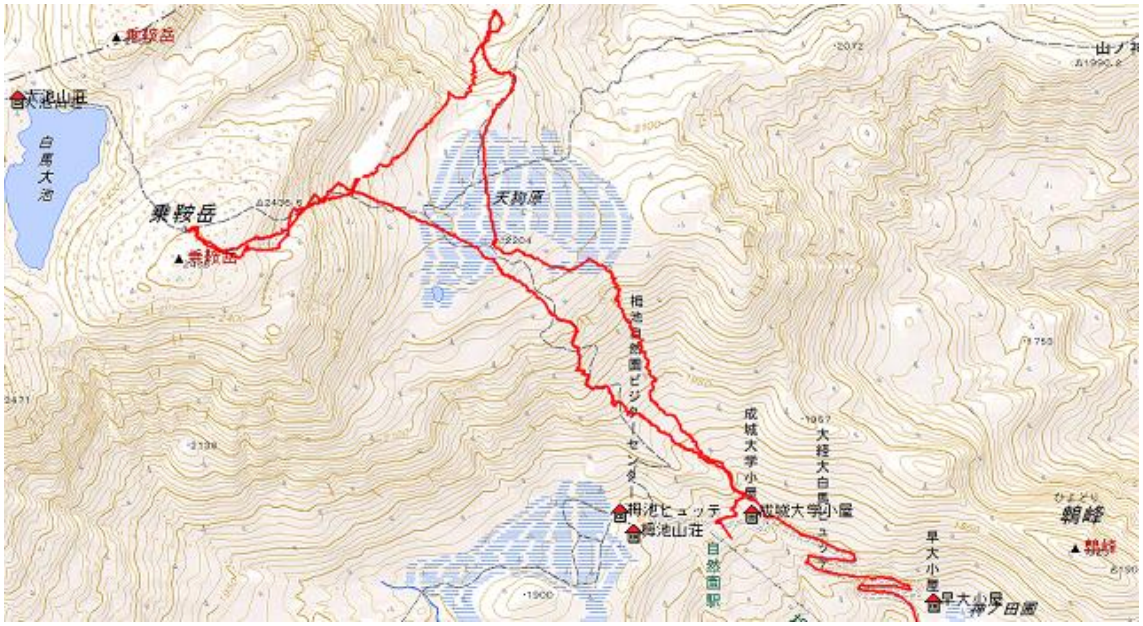
・遠路ではあり千葉のわが家を 3：00 に出発、中央道を使うより上信越長野 IC で降りて、オリンピック道路を使用して白馬地区に入るのがベターである
白馬地区手前のサンサンパーク（仮眠場所として以前より使用している）でトイレ休憩、例年に比べ残雪量が少ない後立山連峰の雄姿をコブシの花越しに撮影すると一気にテンションはアップした。8：00 過ぎに栂池駐車場に到着、少雪のためか、スキーヤー・ボダーは少ない。

・ゴンドラ・ロープウェイを乗り継ぎ、栂池自然園駅に到着すると、係員からいつものように入山の注意事項をお聞きした。金山沢・雪倉へのツアーは既に無理とのこと、蓮華温泉への振子沢も要注意とのこと。
快晴無風の絶好のツアー日和、登山道ルートでシール登行を開始した。しばらく行くと栂池自然園の向こうに白馬三山が遠望できる。かなりの暑さに、レイヤーを調節、水分補給をこまめに行った。天狗原に乗り上げる手前はかなりの急斜面、素晴らしい景色を楽しみながら気合を入れてのハイクアップであった。
天狗原に到達すると前方の白乗の急な大斜面にハイカーが取り付いているが、例年の休日より少ない。先行者は最短距離のトラバースルートで登っている。

われわれは行動食休憩の後、やや遠回りの右回りで、できるだけトラバースを少なくするルートを採り上部まで直登できた。
早くも先行のスキーヤーが滑走してくる。条件が良いようで気持ちよさそうに雄叫びをあげていた。上部はさすがに急斜面、下地がやや硬くなっており、ジグを 2~3 回切り、最上部の緩斜面に到達できた。最近は高齢者グループのため、アイゼンで登ることが多かったが、今回は条件にも恵まれ最後までシール登高できた。山頂部の平坦地は雪が消えハイマツが露出し岩がゴロゴロしているが、左回りで進むと、山頂のケルン直前までスキーを脱がずに済んだ。白馬大池から船越の頭への大斜面をできれば滑走してみたかったが今回は断念した。いつもは風の強い山頂であるが微風程度、春霞にやや煙る後立山連峰・雪倉・朝日岳などを眺めながら行動食をゆっくり採り、記念撮影をした。

・さあ、お楽しみの滑走です。急斜面手前まではフィルムクラスト気味の緩斜面、今シーズン最高の極上ザラメの感触を楽しめた。急斜面に移るとジャンプターン・大回りターンなどで慎重に高度を下げた。天狗原北端方向へ標高差 250m の大斜面を 2~3 回止り、写真撮影しながら滑走した。皆さん北アルプスの素晴らしい大滑走に大満足、ポーズを決めてショットに収まっていた。

時間もあるため、蓮華温泉へのツアールートの最初の部分、標高差約 150m をさらに滑走、天狗原に登り返した。ここまでの前半の滑走は累計標高差 400m であり無木立斜面であった。しばらく天狗原の平坦地を進み、シールを外してゴンドラ終点駅までの標高差 630m のツアールートの滑走である。ルートに旗を配置してあり分かりやすい、雪質が湿雪で重くなってきておりやや滑りにくいが上々である。徐々にシラビソ林が密になり、間を縫ってゆっくり下った。ゲレンデまでの林道を暫く進み最後のゲレンデ滑走でフィニッシュ、最終 16：00 の 10 分前にゴンドラに乗車できた。



・いつも入浴する「倉下の湯」は工事中，新装した「八方の湯」で、ちば山としては高額の 800 円を払って疲れを癒した。来年は久しぶりに蓮華温泉泊のツアーに来たいねっと、メンバーと約束（？）をした次第です。